





第49号
 令和3年11月10日

発行責任者
千歳市町内会連合会
 会長 沼田常好
 千歳市幸町4丁目30
 中心街コメセン内(千歳タウンプラザ3F)
 TEL.0123-49-7100
 印刷：千歳印刷株式会社

令和3年度 千歳市町内会連合会定期総会

令和3年度の市町連定期総会は、当初、6月5日に開催の予定で準備を進めていましたが、緊急事態宣言期間が延長されたことを受けて書面会議にて開催（書面表決日6月14日）しました。

報告事項は、令和2年度事業報告、一般会計・特別会計収支決算報告、監査報告となっており、審議事項は、令和3年度事業計画案、一般会計・特別会計収支予算案について、146町内会・自治会中、121件の表決があり、このうち承認が121件、不承認が0件で議案について全て原案どおり承認されました。

1. 報告事項

- 報告第1号 令和2年度 事業報告
- 報告第2号 令和2年度
一般会計収支決算報告
- 報告第3号 令和2年度
特別会計収支決算報告
- 報告第4号 令和2年度 監査報告

2. 審議事項

- 議案第1号 令和3年度
事業計画（案）
- 議案第2号 令和3年度
一般会計収支予算（案）
- 議案第3号 令和3年度
特別会計収支予算（案）

令和3年度事業計画の主な内容

- ・令和2年度までの「町内会活性化支援事業」のセミナーに参加し結成された若い世代同士のグループ「ちとせの輪」と各町内会の活動を支援するためのマッチングを展開し、推進する。
- ・自主防災組織の設立や自主防災活動

を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症を想定した避難所の開設対応など新たな災害対策の推進に努める。

- ・町内会の加入促進については、電子回覧板などのICTの導入について勉強会を開催するなど町内会活動を積極的に支援する。また、ホームペー

ジによる広報や、各町内会が単独でホームページを立ち上げ、市町連のホームページとリンクした利用しやすい環境を整えるとともに、千歳市や関係機関・団体との連携を強化し、情報の共有を図りながら町内会加入促進に努める。



千歳市長感謝状並びに千歳市町内会連合会 会長感謝状及び表彰の贈呈について

市長感謝状については千歳市の浅井市民環境部長が、市町連会長感謝状及び表彰については、沼田会長はじめ事務局からお届けして贈呈を行いました。

・千歳市長感謝状受賞者

（町内会長在職10年以上）

- 丸 藤 一 弥（春日町5丁目）
- 丸 山 成 士（白樺）
- 酒 井 義 則（錦町2丁目）
- 高 橋 和 彦（北陽北）
- 松 枝 仁（若葉団地）



カルビー株式会社様への
感謝状贈呈

・千歳市町内会連合会会長感謝状贈呈

（ポテトチップスの寄贈）

カルビー株式会社北海道工場

・千歳市町内会連合会会長表彰受賞者

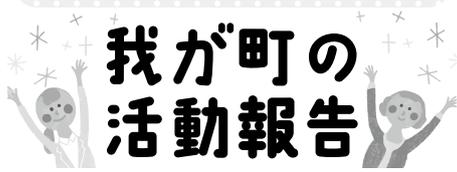
（町内会役員在職10年以上）

- 嵯 峨 雅 子（あけぼの団地）他44名
 （敬称略、順不同）



市町連会長表彰贈呈

町内会・自治会からの声の欄

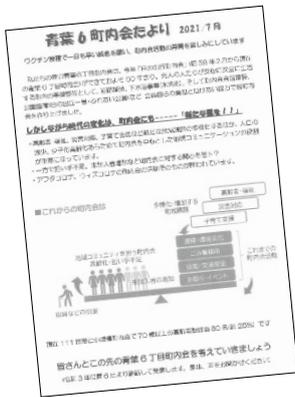


我が町の活動報告

#青葉6丁目町内会

平成23年の定期総会で私たちの町内会は「三代目で創る継続する町内会」をスローガンとして宣言しました。それから10年。世の中が一変し、新型コロナウイルス感染拡大で日常生活も、そして町内会活動も新しい生活スタイル「ウィズコロナ」が求められることになります。

コロナ禍で「ごみボックス更新」のチャンス到来



従来続けた夏まつり、子供樽みこし、新年交礼会などたくさんのコミュニティの場を提供してきた町内行事は再考しなければならず、高齢者世帯の多い当町内会も大勢が会することは回避、リモートでの開催はなお難しく役員一同頭を悩ませました。そんな自粛の中、「予算計上した事業費を利用してこの機会に老朽化したごみボックスの更新をしたら…」と役員の一言。コロナで年間行事ができない中、会費と貴重な資源回収還元金、多少蓄えた積立金を活用して傷みが進んでいるごみボックスの入れ替えを決定、110世帯の小規模町内会ですが5台を更新することができました。残りの台数もまだまだありますが、会員の理解と資源回収への再度協力をお願いし長引くコロナ禍、使用頻度の多い生活周辺施設の環境整備を進める所存です。

ウィズコロナを見据え「青葉6町内会だより」発刊！

コロナ禍、三密、ソーシャルディスタンスなど制約ごとの多い中、会員同士の近況も希薄になりがち。コロナ後の再活動に備え、町内会役員と会員との距離を少しでも保ち続けたい、そんな思いでA4版両面に町内の近況、ごみボックス更

新報告、雑談から耳にした情報などを記載し、また裏面には千歳市などからの重要情報を掲載し、3度にわたり発刊、全戸に配布周知しました。配布の際は各班長に高齢者の安否の確認も重ねてお願いし会員の安心安全にもつながりました。



これからはもっと柔軟な町内会を目指して！

人生100年時代を迎え、仕事、介護、子育てと幅の広い生き方が求められ、私たちの日常も新しい生活様式の中で柔軟に対応していかなければなりません。多様化する会員のニーズも多岐にわたります。今後、私たちの町内会は、防犯灯設置、ごみステーション設置そして維持管理、自主防災組織の運用、災害対応など「共助」が必要と思われることを優先する町内会づくりに舵を切りたいと考えます。そのためには柔軟で発想力のある若い力が不可欠になりますが…皆さんはいかがででしょうか？

避難所開設研修等の実施について

新型コロナウイルス感染症拡大の合間を縫って、千歳市の指導も受けながら各地区で避難所開設訓練等が実施されました。

○コミセン職員向け避難所開設研修（4月25日）、○鉄東コミュニティ協議会避難所開設訓練（7月20日）、○本町自治会避難所開設運営訓練（7月25日）、祝梅コミュニティ協議会避難所開設訓練（10月24日）。



避難所開設訓練・座学



段ボールベッドの組立て



パーティーの組立て



受付での健康チェック

各町内会・自治会からの個別要望事項について

本年度の個別要望事項については、27の町内会・自治会から6分野50項目の要望が寄せられました。①ゴミステーションの補修やゴミの収集方法等9項目、②公園設備の補修や市営住宅の施設管理等12項目、③雪解け水の滞留対策や街路樹の管理等4項目、④通学路の街路灯設置や防災無線の設置等7項目、⑤道路標識の設置や通学路の安全対策等16項目、⑥町内会館屋根の改修等2項目。コロナ禍の中、これらの要望事項については書面で千歳市に提出し、9月15日付けで回答があり、要望のあった町内会・自治会に通知したところです。また、個別要望事項を踏まえ市町連としての全体要望を理事会にてとりまとめ、10月19日に千歳市長に提出しています。（回答説明会11月29日予定）



北斗2丁目自治会

当自治会では、会員の高齢化、若年層の自治会事業への関心度の低下傾向等の理由から、特に60歳代以下の会員の参加を募って「自治会活性化事業検討会」の開催を計画しました。

自治会活動の現状と 会長の決意！

検討会の立ち上げに向けた現状認識と会長の思いについて紹介します。



「社会情勢、生活様式の変化に伴い町内会・自治会等の会務運営も多事多難な時代になってきたと感じるのは私だけでしょうか。自治会・町内会組織の目的は、その地域に住む住民同士が助け合い協力し合って住みよい地域社会を創っていくこと、住民一人ひとりの心のふれあいと連帯意識を培うとあります。現在、コロナ禍での新しい生活様式が求められ何かと不便・不安を感じながら日々を送っておりますが、緊急事態宣言の解除後も早期の終息、コロナ禍以前の生活を送れることを願うばかりです。

北斗2丁目自治会の組織存在の意義を継承し、さらに活性化を図り充実、発展させるためには、次代を担う世代(60歳以下)のパワー(IT情報、斬

新的な発想・企画、実行力等)が必要不可欠だと思います。」

若い世代へ問いかけよう！



この会長の思いを実現するため、令和3年度は「自治会活性化事業検討会」を立ち上げ、会議を実施することとしたのですが、コロナ禍の影響で会員が集まった会議は実施することができませんでした。そこで自治会の現状と課題、目的と役割等を明確にするため資料を作成配布することで「書面検討会」を開催することとし、現在、60歳代以下の会員から課題解決の打開策などについての意見を集約するため協力をお願いしています。若い世代からの多くの思いが寄せられることを期待しています。

【資料の内容】

- ・自治会の現状(加入世帯数、年齢構成、高齢化率、主な活動、役員の内職年数について数値を列記)
- ・自治会の課題(役員の高齢化・なり手不足、行事等への参加者の固定化と減少、活動内容の慣例化、少子高齢化に伴う会員の減少及び活動低下、財源不足による活動及び機能低下、若年層の自治会活動に対する関心度の低下、高齢世帯に対する除雪支援体制の低下)

- ・自治会の目的(一定の区域を単位として、その地域に住む住民同士が助け合い協力し合って住みよい地域社会を創っていくこと、住民一人ひとりの心のふれあいと連帯意識を培うことを目的とする)
- ・自治会の役割(区域内での生活上の諸問題や防犯灯などの身近な環境の整備・管理、或いは公園や区域内の清掃・美化、防災・防犯活動、さらには、夏まつりや運動会、敬老会、新年会など区域の人々との交流、相互扶助、親睦行事などの活動を行っていますが、人と人とのふれあいや地域の連帯感高揚は、行政が主体となって築かれるものではなく、こうした生活環境の整備活動や諸行事によって築かれるものであり、真に住みよいまちづくりを築くために自治会が果たす役割は大きいといえるのです。)
- ・諸活動等の一例(扶助活動、社会福祉活動、防犯灯の維持管理、研修活動、親睦活動、環境美化活動、資源回収活動、防犯活動、広報活動、行政への陳情等について、具体的に例示を列記)



市町連女性部会 ボランティア活動 福祉施設に雑巾をお贈りしました



例年、市町連女性部会が呼びかけて福祉施設での大掃除を実施していますが、コロナ禍の影響で昨年度に引き続き中止せざるを得ない状況となる中、本年度は雑巾を作成してお贈りすることとしました。各町内会・自治会からは合計1,400枚余りの雑巾が寄せられ、10月27日に特別養護老人ホーム暢寿園様並びにやまとの里様に沼田会長並びに太田女性部会長から贈呈をさせていただきました。両施設の施設長様からは感謝のお言葉を頂戴しています。

雑巾作成に関わられた多くの皆様に厚くお礼を申し上げます。



あなたの
町内会・自治会の
トピックスを
お寄せください!!

市町連では各町内会・自治会の独自の取組を募集(400字・写真2枚程度)しています。交流事業や防災活動、高齢者の見守り、回覧板の回覧手法、ITの活用事例など、市町連だよりやホームページでも紹介していきます。

連絡先

市町連事務局
電話 0123-49-7100
FAX 0123-49-7300
Eメール: shicyoren@city.chitose.hokkaido.jp



事務局通信 | 町内会活動 ICT 活用支援事業 |

平成30年度から令和2年度まで市町連では千歳市の補助金を受けて「町内会活性化支援事業」に取り組んできました。この事業は町内会への加入率の低下や会員の高齢化に伴う役員のなり手不足などの諸課題に対応するため事業化されたものですが、事業期間中においては、新型コロナウイルス感染症拡大が町内会活動にも大きな影響を及ぼし、新たな対応が求められたところです。

令和3年度からは活性化支援事業の成果を踏まえ千歳市において「町内会活動 ICT 活用支援事業」が事業化されました。

この事業は、若い世代も含めて町

内会活動について広く呼び掛けを行う必要があることから、情報共有と発信の強化を図るためインターネットなど情報通信技術の導入・活用を促進しようとするものです。

事業内容は、情報化に関する各種セミナーを開催するもので、内容は、①ホームページ開設の操作セミナー、②メール・ラインなど情報化の基礎体験セミナー、③ホームページ回覧板やオンライン会議の導入実践セミナー、④情報通信技術（ICT）の活用方法を紹介する全体セミナーを実施するものです。

コロナ禍における町内会活動にとってもメール、ライングループ、ホー

ムページ回覧板、オンライン会議の手法は非常に有効であり、基礎講座から実践講座まで町内会単位で、随時、受付を行っていますので事務局までご連絡ください。



コラム コミセン

“中心街コミセンの閉鎖”

民間施設である千歳タウンプラザが令和3年度をもって閉鎖後、解体されることが公表され、千歳市からも10月24日付けで併設する中心街コミュニティセンターを閉鎖することが公式に通知されたところです。

中心街コミセンは昭和58年1月の開設以来、中心街地区の拠点として地域の皆様はもとより、市内各地区から多くの人々が集まり文化、交流の拠点としての役割を果たしてきました。

市町連では、この問題に対応するため荒副会長をリーダーとして6名のメンバーで組織するワーキンググループを立ち上げ、コミセンの新設を要望することに併せて早急に代替機能を明確にすること、中心街コミ協の存続をサポートすること等について要望書を取りまとめたところです。(10月19日市長へ提出)

ワーキンググループでは、このほかに、今後の各コミ協の組織や運営のあり方についても議論していく予定としています。



ホームページについて

市町連では、ホームページを開設しています。各町内会（みどり台南、春日町3丁目、文京1丁目、末広中区、白樺、住吉北、富丘2丁目、北栄南、ゆうまい、本町、稲穂、豊里）もホームページを開設して市町連のホームページとリンクしています。ホームページ開設のご希望については、市町連事務局にご相談ください。

URL : <https://chitose-choren.jp/>



市町連ライン公式アカウント

市町連ホームページの掲載情報や災害時の緊急情報等をお知らせします。是非、友だち登録をお願いします。



編集後記

今年も残り少なくなりましたが、タイヤの交換・庭の雪囲いとコロナ禍でもいつもの風物詩でほっとしています。

緊急事態宣言は解除されましたが、北海道は長く厳しい冬、寒さ対策が必要になります。暖房機の使用・換気のための窓の開閉などは順守が難しく再び感染リスクが高まるのでは不安もあります。

市町連の改革も中心街コミセン閉鎖の代替施設の要望、これからのコミュニティ協議会のあり方、IT活用した情報発信など次年度以降に向けて種々検討進行中です。

まもなく小雪のちらつく景色になります。身に着けたコロナ感染防止マナーで、来る新しい年を家族みんなで安心安全にむかえたいですね。